

第26回一宮市地域公共交通会議

開催日時：平成30年2月14日（水） 14:00～16:10

開催場所：一宮市本庁舎11階 1102会議室
(一宮市本町2丁目5番6号)

出席者

※ ◎・・・会長、 ○・・・副会長

◎吉田 有夫、○加藤 博和、柴田 雄二、青木 隆子、葛谷 昭吾、鬼頭 渡、
近藤 太康、加藤 絡、松崎 俊行、仲西 由衣、小川 健司、近藤 博之、
梅村 和行、長屋 光司、川口 智也、岡田 英雄、八森 誠司、青山 博幸、
塚崎 有里、熊沢 裕司、滝沢 文清

事務局

ただいまより第26回一宮市地域公共交通会議を開催させていただきます。皆様方にはおかれましては、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本日の司会を担当させていただきます企画部次長の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は次第にありますとおり、4月から1月までのiーバスや市内名鉄バスの路線バス、iータクシーの利用状況などを報告させていただいた後、協議事項といたしまして「第2次一宮市公共交通計画の策定について」、「iーバスミニの運行について」「生活交通確保維持計画の変更認定申請について」、「公共交通の利用促進について」の以上4つの議題につきましてご協議を賜りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題に入ります前に資料の確認をさせていただきます。まず、本日お席に配布させていただきました資料として委員名簿と配席図、その他に事前に送付させていただきました本日の次第と資料1から資料7まで、そして12月26日付で送付させていただきました「第2次一宮市公共交通計画（案）」でございます。資料につきましては以上ですが、不足などございましたらお知らせいただけますでしょうか。

それでは議題に移らせていただきます。この後の議事進行につきましては会長さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

会長

今日はいつもの会議と違って、午前中ではなく午後2時からということですが、ほとんどの方に出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今年度のこれまでの経緯を説明しますと、今日お持ちいただいた「第2次一宮市公共交通計画（案）」の34ページを開いていただければ分かると思いますが、今年については、第2次一宮市公共交通計画を策定するというので仕事を進めてまいりました。その結果、8月25日に1回目を開き、11月1日に2回目を開いて、前は12月20日でした。要はこれの基本を作り上げるということで、皆様方のご意見などを伺って作り上げてきました。それから1月4日から2月5日までパブコメ——市民意見提出制度を利用して、どんな意見が上がるだろうかということで実施しました。その結果、一部こういうことを加えてもらった方がいいんじゃないかと、文章的にちょっとおかしいところがあるんじゃないかと、そういう市民の切実な声が上がってきた。そういうことを受けて市側として、この会として案を決めたのですが、市民からの声はやっぱり大事にしないといけないということから、一部変更というところも出てきたと思います。そうした意味合いで2月14日のところ、今日の会議があるということです。

中心はこれの承認・変更についてということになってきますが、もちろんそれ以外のiーバス等の利用実績やiータクシーの利用実績も報告の議題として入ってくる。さらには今年度すぐにも国土交通省へ出さなければいけない書類もございます。それを順次やっていきます。次の5月に新年度の会議が始まってくるわけです。そのためにはもう1回原点に帰って、もう1回市民が愛する一宮市のバスとしてどのような視点、ここまでもいろいろ出てきたけれども、まだ考える点があるんじゃないかと、そういうようなことを忌憚のない議論を最後に言ってもらおうかと思っております、本日もご協力いただいて会を進行していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは事務局から利用状況等についての報告をよろしくお願いします。

事務局

<資料説明>

会長

ありがとうございました。まずiーバスも名鉄も含めまして全体のバス利用者が、資料3を見ていただければわかりますが、名鉄バスさんの路線バスについては101.53%と増えてきておりますし、コミュニティバス全体でも104.25%というようなことで

増える傾向にあると。したがって前回もお話ししましたが、バスの利用状況については増えつつあるということでご理解いただければと思っております。

同時にi-タクシーについても徐々に増えつつあるということですし、今も説明がありましたように、停留所も少し増やして、さらに名称も変更する形でこの利用をより大きくしていきたいということで議題に入っておりますので、i-タクシーの利用も増えつつあるということでご理解いただければと思います。これに関係して委員の皆様方からご質問等ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは質問がないということですので、報告事項については終わりにいたしまして、協議事項の1番目「第2次一宮市公共交通計画の策定について」に移りたいと思います。

前々回の会議において事務局から提案された計画案に対して、委員の皆様からいただいた意見をもとに事務局で再検討を行い、内容や構成など大幅に見直しを加えた修正案について、前回の会議でご協議をいただきました。そこで協議した結果、つまり修正後の案で1月4日から2月5日までの間のパブリックコメントを実施いたしました。事前に送付させていただきましたが、資料5-1としてパブリックコメントの意見をまとめさせていただきました。それに対して市としてはどのような形で内容変更をしていったのかというのが5-2です。5-1としてこういう意見が出ました、5-2としてこういうふうに変えていきたいと事務局としては思いますということを受けた形で、これを皆様方に再度ご協議をお願いするわけでございます。それを受けて第2次計画案として取りまとめていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

それでは事務局から説明をお願いします。

事務局

<資料説明>

会長

ありがとうございました。パブコメの中では、「乗り継ぎ抵抗」という言葉に関して、わかりにくいのではないかとという市民からのご意見がございました。その結果、資料5-2の3番目を見ているんですが、計画の基本方針2の施策2として「利用環境や乗り継ぎ抵抗、待合環境の改善（継続）、◎便利・快適に利用できる公共交通環境の整備」という文章を従来使っていましたが、ここを逆にして、利用しやすい公共交通環境を整備することで、施策2として「公共交通の利用満足度の向上」を大きな目標にして、具体的な部

分として「◎利用環境や乗り継ぎ環境、待合環境の改善」へ変更をしていくということ。それを受けて25ページや26ページの部分も変更していきたいということでございます。

もう1つは3ページで、従来「コンパクト+ネットワーク」という言葉を使ってきましたが、社会的に「コンパクトシティ」という言葉のほうが一般的であるということから、コンパクトシティという言葉を使っていきたいということでございます。

あとは27ページの写真等が変わっているということ、資料編として数字的にも変更したところがあるということで、市民からの意見等を聞いた結果、以上のところを変更していきたいということでございます。それ以外でも、委員の皆様方から、例えば読まれてみてこの文章はおかしいとか分かりにくいというようなことがあったら、それぞれご指摘いただければと思います。

委員

単純な確認事項です。冊子の13ページ上の「バスでカバーしきれない小規模な不便地域が一部に残る」ということなのですが、いわゆる交通不便地域、これはもう小規模しかないという認識でいいんですよねという確認と、下の方針にあります「路線間や小規模な交通不便地域の解消」は、15ページの施策2のタクシーを活用したというものだという認識でいいのかというのがまず1点です。

それから16ページ、施策1の2つ目にある「幹線的バス（準幹線）」ですが、サービス水準の向上と言い切っているのですが、この対象は萩原コースくらいというイメージですけれども、それでよろしいのか。というのは、18ページでいろいろ出ている条件で、これを向上させる必要があるのはそのくらいなのかという認識でいいのかということ。

これは事業者都合になるかもしれないですが、「利用状況や運行状況に応じた効率的な運行への見直し」というのは、これは水準の向上を指すだけではなく、やはり適正な輸送力というのも意識していただいていると捉えていいのかというようなところも確認ということ。

また、施策2の「i-タクシー」を「i-バスミニ」と名づけるに当たって、これも事業者の都合なんです。「おでかけバス手形」の通用はどういうふうに考えてみえるのか。これが恒常的なものになると、ポールについても、実証期間中だったから共用で名鉄バスのポールを少しお使いいただいているということもあるのですが、整理してもらったほうがいいのかというようなつまらない疑問です。

ちょっと飛びますが、25ページの施策1、これは前にも質問させていただいたのです

が、市内全バス路線系統番号表示ですが、これはあくまで国でも少し動きがある話なのですが、そういうものに引っ張られるということがあるので、やはり全体的なバランスを見てやる・やらない。もしくはiーバスは独自でいいのですが、名鉄バスですと他の営業所に引っ張られたりということもありますので、あくまでそういう認識でいいですねという確認です。

28ページですが、これも前に触れたかと思うのですが、施策3の「バスをテーマとしたポスターの各停留所への掲示」ということで、30ページにイメージがありますが、これですと既存のポールではちょっと対応できないんじゃないかと考えておりますので、そういう場合は、あくまで覚悟があるのかというのが素朴な疑問としてあります。

事務局

まず、小規模な不便地域が残るといった表現につきましては、一部支線協議をしていたところを除いて、それ以外の不便地域といったものは僅かであるという意味で、このように記載させていただいております。

基本方針1の施策1、準幹線のサービス水準の向上は萩原コースだけなのかというご質問ですが、こちらにつきましては、ご指摘の大和町・萩原町コースと千秋町コースの方も水準に達しておりませんので、この両路線ともと考えております。

施策2のiータクシーにおでかけバス手形を使えるかということですが、今のところそういうことは考えておりません。

施策1の3つ目の「利用状況や運行状況に応じた効率的な運行への見直し」は、ご指摘のように交通事業者さんのドライバー不足といった状況を加味しながら、打てるものを打って行こうというところでの記載ということで、ご理解をいただきたいと思っております。

25ページ、基本方針2の施策1の市内全バス路線系統番号は、ご指摘のようにiーバスについては比較的良いかと思うのですが、名鉄バスさんは一宮管内だけではなくて、小牧や江南にも乗り入れされておまして、様々な調整が必要かと思っておりますので、これらの調整を取る中で、できればやっていきたいと考えております。

28ページ、施策3のポスターのバス停留所への掲示については、現在、千秋町コースと大和・萩原町コースで実施をしておまして、今のところ他の路線へ広げることは考えておりませんので、従来どおりいきたいと思っております。

それから、iーバスミニを本格運行させていただくに伴いまして、今名鉄バスさんの停留所にiータクシー停留所の表示をさせていただいているのですが、こちらのほうはご協

力をお願いしたいと思っておりますので、またご相談させていただきたいと思っております。

会長

それ以外でご意見等ございますでしょうか。確認ですが、私たちとしてはこれを決めたんだよね。それからパブコメで市民の声が来て、事務局側としては少し変更をしたと。それも私たちが了承することいいんですか。行政がこれをやられた以上はそれでいいんじゃないですか。私どもの位置付けはどういう形になるのですか。市民から意見が出たから行政としては今のような形で変更をされたということですので、それはそれでやりくださいという、皆さんの了承を挟まないといけないものなのか。

委員

市民から出た意見ですから、それに沿って変更していけばいいんじゃないですか。

会長

市民の意見を基本として変更案が出てきましたので、基本的にはちょっとした言葉のニュアンスで、変更しなかったこともあるのですが、一部先ほどの15ページの言葉の部分であるとか、あるいは社会的通念上「コンパクトシティ」という言葉のほうがいいとか、事務局側も変更されたということです。私どもとしても市民の意向で事務局がこのようにされたということで、僕らがこれを決めておいて事務局が変更された。変更されたのは私どもとしてはどうぞと、仕方がないですとしか言えないのかと思ったので。実際は市民のパブコメを受けた形で行政が事務局案として変更をされました。それをこの会として了承ということによろしいでしょうか。

副会長

この計画を実施する一番主体になるのはこの会議なので、この会議のメンバーが、これができるかと納得していないといけないというのが基本なので、市民の皆様の意見を見て修正したものについて、きちんと納得して、これでこのメンバーがみんな頑張れるよと、それを踏まえて市が作成するという手順、そういう意味では必要です。

そういう意味でだいぶ吟味しているのでいいのですが、まず資料5-1の1は本質的な意見とっていて、「みんなに便利な公共交通」というのは、全ての人に便利になることは

難しい。これは今まで何回も言われてきたことで、みんなというのは公共交通計画では不可能じゃないのか。つまり、障害のある方とかは、この中でどう扱っていくのかというのは絶対出てくることで、そういう方にとって、これを読んだときに私はみんなじゃないよねと思う。だったらみんなと書いていいのかというのは常に出てきて、ことごとく削除してきたと、僕は過去そうしてきました。わかりやすいのでどうではなく、読む人がどう思うのか、本当にそれができるのかという観点から考えた方がいいのかなと思いました。逆に言ったら、みんなでというのであれば、そういった方の手段はどうするのかということを書かないといけない。全国的にはそこまで書いた計画もある。

それから「コンパクトシティ+ネットワーク」の話が出ましたけれども、改めて検索をしましたが、もともと国交省は「コンパクト+ネットワーク」と言っている。ただ都市局が「コンパクトシティ+ネットワーク」と言っているだけで、一般的には「コンパクト+ネットワーク」です。何でかといったら、シティだけじゃないから。田舎もいろいろあるので、シティと言ったら街だけだと。ただ、一宮は街なのでシティでいいじゃないかという考えもありますが、結構危険で、コンパクトシティと言った瞬間に田舎の人がいないのかという議論が常に出るので、私は田舎は集まった方がいい、都会も集まった方がいいよねということで、シティを付けないのが私の要望です。国交省全体としてもそう考えているのですが、都市局は都市だからコンパクトシティということにしていて、そこは注意されたほうがいいと思います。決して「コンパクトシティ+ネットワーク」というのは一般的な用語ではない。それを言ってしまうと立地適正化計画の話も出てくるので、まだ十分調べていないのに、そこまで言っているのかと思います。

その2点は看板になることなので、中身が変わっていなくても、それを見て私たちや市役所がどういうふうに思っているかというのが出てしまうので、「みんな」というところと「シティ」というところだけは吟味したほうがいい。中はかなり議論してきて、今の段階で気づくこともあるかもしれませんが、パブコメで意見が出て、返事が適切かどうかということはチェックしなければいけない。資料5-1は案なので、こういう答えでいいかということなので、5-1の1についてはちょっと気になるということと、5-2については事務局としてチェックして書かれたことですが、1つ目については僕はそういう違和感がありました。

事務局

ご意見ありがとうございます。理由を簡単に説明させてください。まず副題を「みんな」

にした点ですが、計画の中で先生がおっしゃられたように、例えば障害者の方はみんなに入らない、そこまで重く考えたことではありません。例えば計画の27ページにあるのですが、バリアフリー車両の導入を推進するというので、バスもノンステップバスもどんどん入っていますし、タクシーもUDタクシーということで、いろんな方が自由に使えるような手段もどんどん取り入れられているということで、だんだん皆さんが使いやすくなるというイメージで「みんな」という言葉を私どもは入れました。ただ、無いほうがいいんじゃないかとの会議の中でおっしゃられれば、ここを変えることは全然構わないですし、ここはお諮りをお願いしたいと思っています。

もう1点、「コンパクトシティ+ネットワーク」のほうですが、これは先生がおっしゃられるとおりで、都市局の担当からそういう指摘がありました。私どもも国土交通省のホームページを見たのですが、本当に「コンパクト+ネットワーク」と「コンパクトシティ+ネットワーク」が両方出てきます。私どもが思ったのは、これから策定される立地適正化計画という計画があるんですが、そっちは都市局のほうでメインで、そちらの言葉使いが「コンパクトシティ+ネットワーク」になっていくという話を聞いておりますので、そこは市の中で表現を合わせて、この会議で何度も言われているんですが、立地適正化計画と網形成計画は車の両輪になるような計画ということで、両方の言葉を合わせたほうがいいんじゃないかということで、「シティ」を入れて修正をしたという経緯でございます。

副会長

一宮市は全部が都市計画区域ですか。

事務局

全部が都市計画区域です。

会長

「コンパクトシティ+ネットワーク」という言葉でいいんじゃないかと思うのですが、もう1つの、バスは細かく言うと、本当に「みんな」かといえば「みんな」じゃないだろうなど、絶対そこまでいかないだろうと思うのですが、目標として誰もが利用しやすいという意味合いで、この言葉というのは国語表現的にも、それを考え出したら安易に使えなくなってくるので、そのことも考えると恐らくもっともっと厳しくなってくるんじゃないかという気がします。ここは曖昧模糊というわけじゃないですが、そうした言葉であって

「みんな」という言葉でもいいのではないかと個人的には思います。一つの方向性というか、誰もがとか、もっともっと皆さんに利用していただきたいという意味でみんなという言葉を使いますし、この方が言わんとされることもわかるのですが、最終的に皆さん方のご意見に従おうと思うのですが、近藤委員さんはどうですか。

委員

私も加藤先生と一緒に、「みんな」という言葉に最初は違和感があったのですが、一宮の計画は31ページの目標を見ると、不便地域をゼロにしているんですね。それとの連動を図っていると考えれば、意気込みだということならいいのかという気はしています。

委員

加藤先生の言われることも一理あると思うのですが、やはりユニバーサル的なデザインという部分で、そこまでのものを兼ね備えているかということ、そこはなかなか厳しいところはあるかもしれない。ただ、先ほど事務局から説明があったように、UDタクシーであるとかバリアフリー車両の導入も推進している意味合いからいくと、よりそこを目指していくんだよという意味合いの観点からすれば「みんな」という言葉でどうにかいけるかと私は思うところであります。だいぶ時代がそういうようになってきている。ただ、この計画がそこまでいっていないところはあるかもしれないので、そこは目指していくという意味合いでもどうかという気はしています。

委員

あくまでもメインタイトルの副題なので、この計画は5年間ですよ。5年先の着地点を目標とすると、「みんな」というのは加藤先生のおっしゃるとおり、ちょっと厳しいかというような気が私にはします。「もっと便利な公共交通」とか、自分たちが議論するとき、ある程度設定しやすいようなものにしたほうがいいかなと個人的には思います。

副会長

申し訳ないことですが、もし「みんな」という言葉を使うのだったら、福祉タクシーとか福祉有償輸送も入れておいてほしいなど。そうでなく「みんな」と言ったとしたら、そういうものは一宮市としては公共交通と考えてないという表明になるわけです。ここに書いていないのは公共交通ではない。そういうものを使っている人は「みんな」に入らない

ということになりますので、そこは注意した方がいい。その裏返しを言うと、「みんな」と書いた瞬間に、こういうものをどう頑張っても使えない人は「みんな」じゃないし、どうなっちゃうのかということが出てくる。でもこれは議論すると時間がかかることなので、だから逃げちゃうというか、公共交通計画とやっている段階で、実は「みんな」じゃないのを前提にしているというのがあって、一方で地域福祉計画とか、そういう計画でそういう方はどう輸送するのかということをやろうねということも多くのところではやっている。あるいは地域福祉計画では移送のことは余り考えてなくて、そういうことは手薄になっているというのも多いと思うのですが。それをこの計画の副題に書いていくのはちょっと心配だな。

今の「もっと」だとか、僕は「気軽に」というのも決して悪くないと思いました。やっぱりみんなにいいのかと言われると躊躇するので。大方針としていいよねというのはおっしゃるとおりで、理想としてはそれがいいに決まっているので、そこも反論しないですが、実際中身を見たときにそういう建てつけになっていない状況で言うと、やはりそういうことに対して不満というか、もっとこうしてほしいと思っている人はいるわけで、そういう人に対してちょっと阻害的なことを感じさせるのはよくないんじゃないかと思いました。もし、福祉輸送については別の計画で書かれるとしても、そうやって書いてある計画もあります。だとしてもそれは副題には劣るので、副題はここに書いてあるので、読む人が見たらそういうことがあるとなったら、UDタクシーはそのレベルじゃないので、ちょっと引かかる。

「みんな」に鍵かっこを付けて、「ここでいう『みんな』とは一般に公共交通を使える人のことを指す」みたいに書いた計画もありました。そんな注釈付けるような副題はかっこ悪いじゃないですか。やっぱり副題は、これを見てああそういう計画かとわかるものじゃないといけないので、副題に注釈付けるなんておかしなこと。本当にこれができたらいいのですが、とても今の段階でこの計画はもとより、全国的にやろうとしてもなかなかできるものじゃないので、ちょっとひるんでしまいました。

「みんなに便利」という言い方は、「みんなにとって便利」じゃないかな、文法的には。僕はそんなにこだわりませんが。

会長

本当は「みんなが」ですね。日本語的には「みんなに」だったら「みんなにとって」ですから。

事務局

今の「みんなに」というところをご議論をお願いしたいと思いますが、パブコメでいただきました「気軽に利用可能な公共交通」というご意見に対する答えですけれども、実は副題のイメージは、計画案の14ページにあります「計画の目標」を副題に入れようということで最初考えていました。これではあまりにも表紙からして堅そうなイメージが出てしまうので、これを砕いてこのような副題にしたということで、ここにある「利便性の高い持続可能な」というイメージを「便利な公共交通」にまとめましたので、「気軽に」というのも先生はいいとおっしゃられたんですが、「便利に」というところは残したいなと思っております。

副会長

「実現をめざして」にしてはどうですか。「ために」だと本当にやらないといけない。「めざして」だと、そっちの方向に向かおうとしているので。

会長

国語的な部分で大変難しいところなのですが、例えば「みんなに」という言葉を取るとして、1つの提案ですが、「もっと便利な公共交通の実現をめざして」はどうですか。「さらに」よりは「もっと」、「ために」よりは「めざして」として目標にしてではどうかと。「みんな」という言葉に皆さん引かかるということが多いとすると、取ってしまってもいいですよ。そうすると「便利な公共交通をめざして」ではちょっと意味がわかりにくい。今よりもさらにという意味合いで「もっと」とか、「明日の」とかそういう言葉はよく使うけれども、「明日の便利な公共交通の実現をめざして」では何かわからないよね。

委員

「みんなに」というと、どうも高飛車な上から目線に聞こえてしまうから、「皆さん」という言葉がよく使っているんですね、14ページにも「みんな」とは書いてない。「皆さんが安心」、「皆さんはもちろん」、「皆さんにも」。皆さんという上から目線じゃなくて、市民のためにという柔らかくなりますよね。「みんな」がだめなら、「皆さん」という言葉でいいんじゃないかと私は思います。

会長

「みんなに」という言葉を「皆さんに」にするんですか。

委員

「皆さんのために活動する」という言葉はよく使いますが、「みんなのために活動する」という言い方は私たちはあまり使わないですね。

副会長

「皆さん」と言った場合は、敬称だから自分が入らないんですね。我々が市民の皆さんやってねという感じになってしまう。この計画はこの人たちもみんなでやる計画なので、皆さんと言うとちょっと違う。先生が生徒に「皆さんこれやってください」と言うのはいいけれども、同じプレイヤーなので。「みんな」と言った場合は敬称じゃないので自分も入る。「皆さん」は柔らかいのですが、自分が入らない。

委員

一番わかりやすいのは、「私たちにとって便利な公共交通」とか。

副会長

「めざして」にすれば、みんなでもちょっとやさしい。「ために」というと本当にそのことが書いてないといけなくなる、「for」ですから。「めざして」はそちらの方向へ進むということだから。

会長

「みんなに」を「が」にしたらどうですか。「みんなが便利な公共交通の実現をめざして」、硬すぎますか。

委員

先生が言われるように、「に」を「が」に変えて「みんなが」がいいんじゃないですか。

委員

公共交通の利便性とか満足度とか、乗り継ぎのしやすさとかは、今使ってらっしゃる方

がより便利になるとか、こういうふうがいいよねということだろうと想像しますと、「より便利な」のほうが。そうすると、使っていらっしやらない方は使っていないので、使ってらっしやの方が「より便利」というのがすごくわかりやすく、どこまでやればいいのかというのもしせる気がします。

会長

これでいきましょう。いろいろ考えたのですが、主語がはっきりして「みんなが便利な公共交通の実現をめざして」。これを副題にしたいと思いますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

パブコメ等の意見を受けた形での第2次一宮市公共交通計画については、5-1の1番の意見に関しては、いろいろ評価した結果、「みんなが」にしたということで、答えられる形になるかと思っておりますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。これは了承されたということで、1については終わります。

それでは、2番目の「i-バスミニの運行について」に移ります。この議題については皆さんの合意が必要になりますので、協議の後、お諮りしますのでよろしくお願いいたします。それと、私も迂闊だったのですが、「i-バスミニ」という言葉は前回も出ていて了承したのですが、なぜ「i-タクシー」が「i-バスミニ」になったかということについて、十分理解していないところもあったものですから、事務局からそのところも踏まえて説明をお願いします。

事務局

<資料説明>

会長

どうもありがとうございました。i-バスミニの運行についてということで、これまでより5か所の停留所が増えてくるという説明がありました。これはあくまでもi-バスや普通の路線バスが走っておりますが、市内でどうしてもバス停まで遠いという地区がある。そういう地区に住んでみえる方々が少しでもバス停に早く出られるようにという思いで、自宅に近いところからバス停までの間を繋ぐ道具としてタクシーを利用してきた。それが試行期間を経て本格運用にいきたいという提案です。そのためには、5か所増やしていきたいということです。

特に前回までも気になっていたのですが、1時間前の予約がタクシー会社の配車やいろんな部分で不便なところがあるということだったのですが、今回はそのところも、後でご意見伺わせていただきますが、オーケーが出て30分前になったということで、行くときは事前にわかるからいいのですが、帰って来る場合に1時間待つのは大変だからということが30分になりましたので、そういう意味では利用しやすくなったんじゃないかと思えます。

名称も「i-タクシー」というと一宮タクシーと間違えてタクシー会社ということになってしまうものですから、あくまでもバスの補助という意味合いでi-バス補助ではないので、i-バスに繋ぐものとしてのタクシーをミニと呼ばせていただいて、「i-バスミニ」に変更させていただいたという状況です。

それについてまず愛知県タクシー協会の小川委員さんのご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員

タクシー協会の小川でございます。私は名鉄西部交通の出なものですから運行事業者ということになりますけれども、先ほど市の方からもご説明ありましたように、基本的には帰路の対応を主目的と伺っております。その時間短縮ということですが、なかなか午前中の早い時間、雨の日などなかなか車が見つからないということもありまして、乗務員不足で車の動くペースが非常に厳しい状況であります。その辺りを十分ご理解いただきながら、30分という短縮にはなりましたが、なるべく早くご予約をいただければ対応しやすい。せっかく予約いただいても接続バスに間に合わないといけないものですから、その点で早めの予約の声かけをお願いしたい。対応はしてまいりますけれども、よろしくお願いします。帰路は対応できると思いますけれども、朝ですと30分前ぎりぎりになると車が回しきれないことが発生しますので、その辺りをよくご配慮をいただきたいとお願いします。

会長

それから、この運行について警察の青山委員、よろしくお願いします。

委員

事前に事務局から話を聞きまして、バス停を確認させていただきました。バス停留所の関係につきましては、交差点内とか法定の駐停車禁止箇所——横断歩道の直近とか、そう

いうところでは非常に危険を生じさせやすいということで、そういうところは避けていただきたいということを事前をお願いしていましたが、そういう危険なところは外れた感じでございます。車が停まることで交通渋滞等の発生が懸念される場所も避けていただきたいをお願いしておりましたところ、今回は交通の激しいところはなく、渋滞の発生の危険性も薄いだらうということが予想されましたので、今回はこのバス停については利便のためには止むを得ないということで判断をしました。

会長

ありがとうございました。続いて市道を管理してみえます建設部道水路管理課の滝沢委員よろしくをお願いします。

委員

道水路管理課の滝沢です。北高井公民館の停留所が道路にバス停を設置されるということで、事前にお話をいただきまして確認させていただきましたが、特に支障はございませんので、ご報告させていただきます。

会長

警察あるいは市道の関係の了承を得たということですが、このi-バスミニの運行についてご意見等がございましたら、賜りたいと思います。

委員

弊社は3月17日にダイヤ改正を予定しておりまして、丹陽線も少し時間を延ばさせていただき予定しておりますが、そちらのほうの調整は、それに影響があるようでしたら接続時間等の検討いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

事務局

事前にダイヤ改正のことはお聞きしておりまして、今回は仮の時刻表ということでお示ししてございます。内容がはっきりしましたら、ダイヤ改正後の内容のものにそれぞれ置き換えて対応して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

会長

そこについては事務局と名鉄さんでよろしくをお願いします。

委員

今回停留所を5か所追加ということで、今までに利用されていたバス停もあって、要望があったということで5か所設置したのかなということと、今回本格運行ということで、まだまだ周知しないといけないよねと言ってきた中で、全くまだ利用者がいないバス停も存在している。ここを本格運行するとき、そのまま行くということでいいのか。やはりこれは周知不足ということで、まだまだ利用が望めるという考え方でいいのかどうかということの2点をお尋ねします。

事務局

5か所の選定根拠ですが、今回追加する5か所のうち4か所が丹陽町連区ということになっております。そのうち、秋葉公園、油田公園につきましては、多加木町内会というところにあるのですが、いわゆる不便地域の対象となる町内会が4町内会ございます。一方、i-タクシーの試行運行の段階で停留所の設置箇所が2町内会となっておりますので、利用実績も丹陽町連区は非常に多いものですから、1町内会1か所ということで、増設の要望もございましたので、ここに2か所増やさせていただきます。同じく丹陽町の念佛公園と三ツ井公園につきましては、こちらのほうは市の中でも人口が急激に伸びている地区で、追加の設置要望もございましたので、この2か所を今回追加させていただくということでございます。もう1か所、北高井公民館でございますが、こちらにつきましては、今まで設置はしてございませんでしたが、規模的には小さいかもしれませんが、地元の町内会と調整させていただく中で、停留所を設置可能という場所が見つかりましたので、今回追加をさせていただくということで、この5か所を設定させていただきました。

それから追加に当たりまして、利用実績が無いところもそのまま行くのかということでございますが、ご指摘のように周知不足という面もあるかと思いますが、私どもも年に何度か全戸配布のチラシをお配りさせていただきつつ、地元の町内会の方にも「どうして使われないんですか」といったこともお聞きをさせていただいているものも事実ですが、ご利用がないといった状況でございます。ただ、利用がないということをもちまして、この停留所を直ちに本格運行で無しにするということも、運行がなければ経費的には掛からないと、この言い方は適当じゃないかもしれませんが、そういったこともございますので、今後の検討材料ということで考えていきたいというふうに思っております。よろしくお願

いします。

会長

それ以外にご意見等ございませんか。最初にお話したように、これは全員の合意が必要になってくる議題でございますが、この件に関しては合意ということよろしいでしょうか。

どうもありがとうございます。それでは議題2については皆さん合意していただいたということで次の議題へ移ります。

議題3の生活交通確保維持改善計画の変更認定申請について、事務局から説明をお願いします。

事務局

<資料説明>

会長

資料7ですが、生活交通確保維持改善計画変更認定申請書ということで、国土交通大臣へ出すものでございまして、4月1日に変更ということで出していくものであります。新しい車両の購入が出てきております。

その中で赤文字のところは車両の取得に係る目的・必要性とか、あるいは車両の取得に係る定量的な目標とか、さらに次の12・13番に赤文字が入っております。後ろから2枚目には平成29年8月25日から今日までの会議の内容がそこに入ってきているかと思いますが、基本的にはこの計画をここでお諮り次第、速やかに国土交通省へ出すという形でいいんですか、認識としては。

事務局

そのようにさせていただきます。

会長

この件に関してのご意見等がございましたら、お願いします。

委員

補足的に付け加えるところがあるという話を事務局のほうには伝えてありまして、11番の「車両の取得に係る定量的な目標・効果」というところに、車両が導入されることによって数値目標等が入ってないということで、そこは入れてもらうように伝えております。あと、次のページ表8というものも添付が成されていないので、そこも付けてもらうということで、細かいところは事務局なり会長に一任していただいて、それを踏まえた上で承していただければと思います。

会長

確かに11番に定量的な目標と書いてあるのに、数値が入っておりませんので、事務局のほうできちんとお願いしたいと思います。一部変更するというので、これについてはご了承ということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。これについての議題は終了します。

続きまして、4番目の「公共交通の利用促進について」に移りたいと思います。前回最後の議事が終わったところで申し上げましたが、5月には公共交通協働推進事業計画が新たに始まる形でございます。次の会議は5月でございますが、その折に、もちろんこれまでの部分もあるのですが、新たに加えるものがあればと考えております。そうした中で市民の方々あるいは業界団体の方々にも一宮のiーバス、路線バス等も含めてこういうようなものを考えたら、面白いバス利用ができるんじゃないかということを考えています。

特に僕は以前に加藤先生が言われた3Kというのがどうしても気になっていまして、観光客・高校生・高齢者。高校生は子どもにしたのですが、高齢者から子どもまでいきたいと思っています。子どもたちがどうやったらバスに乗ってくれるんだろうとか、もっと遠足に利用できないだろうかとか、遠足は市内のバスで行くというふうに行政で何とかできないとか、そういうようなことも提案できないかと考えたり、あるいはふれあいバスのように企業とうまく提携できないとか、例えば浮野の養鶏団地へ卵を買いに行ったら半額になりますよとか、例えば北方の代官所がもっと繋がらないとか、いろいろ考えたりするんですね。なぜ高校生が自転車じゃなくてバスに乗るように学校側へ訴えられないんだろうとか、本当に不便な高校多いんですよ、一宮は。それでもバスじゃなくて自転車等を利用しているんじゃないかと思えますけれども。そういうことも含めて、もっともつとやれることはいろいろあるんじゃないか。ついこの間も、千秋南小学校で乗り方教室をやられたと聞いております。あれを1年に20校くらいずつ回っていくということをやってもいいんじゃないか。そうしたことを考え出したらいろいろ出てくるんじゃないかと

いうように思っています。

それと同時にもうひとつ、時間の関係もあるのですが、こちら側には業界団体の方が見えます。例えば市と提携・協力してこんな企画だったらできるんじゃないかとか、今日はここに見える方は全員一言はしゃべるということで、この議題についてはよろしくお願いをしたいと思います。5分だけ休憩をさせていただきますので、その後、自由に意見を言っていただきたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

(休 憩)

会長

時間の都合もあるので、市民委員の方を中心にご意見を伺って、それ以外でご意見等があればご発言いただきたいと思います。

それでは青木委員さんから、日頃思ってみえることでも結構ですからお願いします。

委員

先月になりますが、私の地域の町内で狭い範囲の方々と、地域公共交通会議の資料を事務局からいただいて皆さんとお話する機会があったのですが、皆さんまだまだ町会長さんは車を利用されている方がほとんどなので、走っているのは知っているけど利用したことがない。中には町会長になったばかりのときに、どんなものか乗ったことがある。4月に町会長さんが代わられるので、そのときに委員としてお話をさせていただく機会をいただいたんです。その中でタクシーのことが出ましたけれども、先ほどと同じようにタクシーが自分の好きなところに行ってくれるんだろうと思ってみえる方もいらっしゃいました。

それから中学校の校長先生とお話する機会がありました。私は尾西地域代表なので尾西一中の校長先生ですと、合併後、総合体育館まで部活などで行くことが多くなった。それも生徒たちは自転車を連ねて行くわけですが、バスだと一宮駅まではあるんですが、そこから先の本数が少ない。部活も試合によっては終わる時間がばらばらなので、待つ時間もあって、もうちょっと本数があるといいなど。自転車で行くには一番前に先生、一番後ろに先生で行くのですが、それは決してベストだとは思っていない、ベターな状態で今はそれしかできないので行きません、ということをお伺いしました。もっと長距離ですとバスをチャーターして行かれるので、そのときはまた違った対応になると思いますが、どうしても使い勝手が悪いので、もう少し使い勝手がよくなるといいなと思います。校長先生がそ

の沿線の方なのでバスのことは詳しくていらっしゃいました。

尾西庁舎の前に泰玄館病院があります。そこへ行きましたときに、尾西庁舎の辺りは南コースと北コースが通っているのです、バスの時刻表のコピーが病院の中に置いてありました。それから名鉄バスを利用されて、尾西庁舎で降りられて病院に来られる方もみえるので、尾西庁舎から尾張三条経由で一宮駅へ行くコース、起へ行くコース、蓮池・西中野へ行くコース、病院で作られたのかと思うのですが、患者さんがここからバスでどうやって帰ったらいいのかということが必要とされているのかと思います。こういうところまで、もうちょっと情報と言いますか、病院は独自で工夫されて作っていらっしゃるのですが、コースのチラシなどをもっとPRして置いていただく。i-バスミニのこともPRして、一宮西病院や一宮市民病院はバスが通るので、いっぱい手段はありますが、もっともっとPRが必要かなと思います。

委員

ワークショップのことですが、奥町連区の西奥町ですが、バスが通っていないし、名鉄も奥町駅まで距離がありますので、そちらの方面は不便なところですのでバスを通すようお願いしたいと思います。電車は30分に1本なので、それに合わせたような形でバスを走らせてもらいたいと思います。木曾川・北方線のi-バスをもう少しそちらの方へ走らせる計画はできないでしょうか。地区のほうから要望がありましたのでお願いをしたいと思います。

委員

先ほど青木委員さんから町会長会議の話がありましたが、私もそういった会議に出ております。その中では町会長の手当とか、いろんな手続きの関係の話が主になっております。i-バスとかそういった話はありません。そういうところで宣伝されるといいんじゃないかと思います。

私は千秋のほうでして前にも申し上げているのですが、46名が千秋団地からウキナオまでi-タクシーで出ております。千秋団地のバス停の位置を総合グラウンド側のほうへ少し変えていただければ、もう少し利便性が上がるんじゃないかと思います。

千秋病院にはバス停があるのですが、もう1つ磯村医院というのも結構な方が通院されております。ちょっと場所は離れているのですが、考えていただけないかと。

よく耳にするのは高齢化になってきまして、いろいろと公民館で行事があります。どう

しても遠い方がそこへ行こうと思うと行かないということがありますから、市の施設は重点的な形で計画を見直していただければよりといいかと。これからますます高齢化になってまいりますから、公民館——たしか萩原も公民館の計画があるかと思いますが、そういったところを計画していただければ幸いかと思っております。

委員

いつも3件くらい言われることがあります。市町村を跨いで連携が取れた交通機関はないか。丹陽地区ですと岩倉・稲沢・北名古屋。そこまで来ているのに繋げない、それをできないものか。もう1点はコンビニとか交通機関で使えるICカード——チャージができるような、他国ではたくさんできるようなので、そういうものでi-バスミニに出来ないかとそういうこともありましたし、1日乗車券の使えない時間があるというのはどういうことか。いろんな方の意見を集約すると、そういう方たちの一番の悩み事は3つにあるんですね。なるべく使いやすいものなら使いますが、これが使いにくいんです。そこが足りないのかなと思います。

委員

高齢者の立場ということから1つお願いしたいと思います。非常にきめ細かい案が作られて、i-タクシーがi-バスミニに名前が変わるということで、非常に素晴らしいことだと思います。私が住んでいるのは小信中島連区で、「小信地蔵尊」という停留所がございまして、たくさん利用者があるということで、非常にうれしいことでございます。

朝日連区の「下端地蔵堂」というところも非常に利用度が多いということで、利用する方は非常に感謝していらっしゃる。今日も午前中に医者へ行ってございまして、どうやっていらっしゃいましたかと聞くと、i-バスで来ましたと、帰りは時間が掛かりますと。来るのは早いですが帰りはどこか回って行くからと、そんな話がございました。

それでお尋ねしたいのですが、基本的にはi-バスミニはi-バスの停留所まで行って、そこに幹線バスが通っている。それに乗って一宮駅に行きたい、一宮の街に出たいというときに、i-バスで行くとどこかで乗り換えて時間が掛かるから、直接行く方法はどうしたら、1日に2本しかない。それでは非常に生活に困るから何とか考えていただけないでしょうか。路線バスとの関係が詳しくわかりませんので何とも言えませんが、ところが小信地区の「地蔵尊」から乗る人達は平和堂まで来るものですから、常に路線バスは通っております。少し待てばi-バスに乗らなくても一宮の本町まで出て行けるといって、非常に

便利な話ですね。そういう細かいところへ気を配ってやってくださるのですが、もう少し考えてくださるといいかなと、私が耳にしたのはつい最近の話なので。そういうことでお考え願えたらと思います。

委員

障害者福祉協会の松崎です。私どもの会員の中で話をしている中で、ハード的にはノンステップバスとか低床バスが増えてきて便利になってきているのですが、車椅子の方たちにはそれでいいかと思うんですが、特に足腰の悪い方たちがたくさん見えて、乗り降りも大変ですし、買い物に行ったときなど歩行器代わりにキャリーカーとか手押し車、そういったものをバスに上げたり降ろしたり、ましてや買物の重たい荷物が入っていると大変だという話がたくさん出ています。そういうソフト面でも難しい面もあるかもしれませんが、運転手さんがお手伝いしていただけるのか、同乗している方がお手伝いしていただけるのか、そういったものがあると出やすいのかという話が出ています。

もう1点、リフトバスのことも前回もお話ししたと思うのですが、もう少し装置の扱いもスムーズにできるようにしていただけるといいのかと思っています。

利用促進という話で、なかなか障害を持った方たちは好んで出るということが少ないので、何かあれば出るということなので、会のほうで障害者割り引きじゃないですが、もう少し障害者の方が出られるものがあるといいねという話が出ています。前の会長からもいろんな話を聞いていますけれども、そういうものがあるといいよねという話が出ていました。

まず一番皆さんが言われていたのは、先ほど言ったように障害者も高齢化も進んできていて、買い物に行くのも特に荷物があるときは大変で、これを何とかしてほしいということです。

委員

赤見保育園保護者会の中西です。私自身は保護者会の中で協議をしたりとかは難しかったので、周知の点で娘が通う保育園で「おでかけバス手形」のリーフレットを設置しました。そのくらいのことしかできなかったのですが、会長さんが先ほど保育園の遠足をバスで行けたらいいというふうにおっしゃってくださったのですが、2年前にバスが安全面の点で、市全体でバスでの遠足が中止になりまして、安全面での説明は受けたのですが、費用面のほうでも苦渋の決断があったのではないかとお察しするのですが、保護者の

方々からは残念な声が上がっていました。

周知の点で、高齢化社会で市民意見提出制度というのを見ましても、高齢者の立場での意見が多いなと感じました。ここにも書いてありましたように、公共交通機関の必要性が、今は車のほうが便利だけれども、もし利用が難しくなった場合に必要を感じている人が多いのではないかと思います。必要となったときに便利な交通手段があれば、とても安心でいいと思います。引き続きバス路線の確保をお願いしたいです。

先ほど協議にもありましたが、副題の「みんな」という言葉が少し引っかかるというのをお聞きしたのですが、捉え方はすごく難しいと思うのですが、私自身は様々な人を対象にされていてすごくわかりやすく、一宮市のイメージとしてはすごくいいんじゃないかと感じました。

会長

ありがとうございました。時間の関係でもっとこちらの皆さんにも言っていただきたいと思っていたのですが、とりあえず市民の意見を中心として、これを全部ではないですが、次の計画の中に入れられる形を取ればと思います。

一つだけ言いたいのですが、この間孫を連れて138タワーパークからアクアトトへ行ったんですよ。名鉄さん、あの間を繋ぐバスは出ませんか。

委員

需要がどれだけ見込めるかですね。

会長

本当によく混んでいるんだよね、高速のほうも駐車場がかなり一杯で。これが無理だったら行政で、シャトルバスで2つを繋ぐような形を考えられないものか。前からやっているかもしれないけど、そういうようなことも、スイトピア江南と犬山城とか。犬山城もものすごく客が増えていて、昔は犬山まで行くバスがあったんですが、そんなようなことも、もちろんいろいろ大変かとは思いますが、そうした意味で観光という部分も考えていく必要はあるんじゃないのかなということも思ったものですから。勝手な意見ばかり言って、申し訳ない。

そういうようなことを含めて、協議については以上で終了としていきます。次の会議は5月になると思うので、よろしくお願いします。この後、事務局と主宰者委員の熊沢委員

からお願いしたいと思います。

事務局

本日はご協議いただきましてありがとうございます。本日ご了承いただきました計画の案につきましては、所定の手続きを取りまして、「第2次一宮公共交通計画」として策定させていただきます。策定後の予定ですが、2月20日に策定したことを報道発表させていただく予定であります。また委員の皆様方には、策定した計画を送付させていただきます。また、計画とともに本日の資料5-1——一部変更しますけれども、パブリックコメントに対する市の考え方につきましても、市のウェブサイトや各庁舎の資料コーナーにおきまして、合わせて公表させていただく予定であります。またこの計画は活性化再生法——地域公共交通の活性化及び再生に関する法律——に基づく地域公共交通網形成計画としての役割もございますので、策定後に国土交通大臣と総務大臣に送付をさせていただきます。

それから1点お願いと言いますか、先ほどご協議いただきました資料7、計画の変更についての資料ですが、バスを買い替えるということで、以前出してあった計画を赤字で修正させていただく計画の変更をお願いした資料でございます。こちらのバスの買い替えにつきましては、平成30年度に予算を執行して買い替えを行う予定でございますので、予算が議会で承認されてから実施する予定の計画でございます。

もう1点、先ほど中西委員さんが遠足のバスの安全性がおっしゃられたのですが、実は保育園のお母さん方はそう言われる方が多いのですが、あれは2年くらい前に軽井沢で事故が起きて、それと同時期に貸し切りバスの運賃が見直しになって高くなったんですね。本当は運賃が高くなって、保護者の皆様のご負担が大きくなってしまいうのでやめるという方向へ向かったのですが、何故か軽井沢の事故と合わさってしまって、バスの安全性ということが保育園のお母さん方に広まってしまったようなんです。ですから、バスそのものはきちんとしたシステムの中で、事業者さんは詳しいのですが、安全性が保たれた中で運行しておりますので、もしそういうこと言われたら、お金の方なんだよと言っただければと思いますので、よろしく申し上げます。

副会長

軽井沢スキーバス事故の前に貸し切りバスの運賃を上げることを決めていて、実際始まっていたんだけど、その事故を起こした会社はその運賃を取っていなかった。そうい

う運賃を取らないと、安全が確保されないよということです。名鉄バスさんは全く問題なくやられていると思いますので、そこはご心配なく。貸し切り運賃を上げる委員会の座長が私だったので、本当に申し訳ないなと思います。失礼いたしました。

委員

企画部長の熊沢でございます。委員の皆様方、本当に今日は長時間にわたりましてご協議をいただきまして、誠にありがとうございますございました。本当に最近寒い日が続いておりますけれども、その寒さを吹っ飛ばすくらいの熱い議論がいただけたと思っております。今回は第2次公共交通計画策定にご協力いただきまして、ありがとうございますございました。私どもにとりまして、本当にいい計画ができたのではないかと思っております。

今年は第7次一宮市総合計画も12月に議会でご承認をいただいたところでございます。その中でも公共交通の整備を挙げております。その具体的な計画ということで第2次の計画を作ったわけでございますけれども、計画を策定するだけじゃなく、やはり実行に移すことが大事だと考えております。今後も皆様方のご意見、ご指導をいただきながら、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

会長

どうもありがとうございますございました。それでは委員の皆様、長時間にわたりましてご協議いただき、誠にありがとうございますございました。次回は多分5月だと思いますが、それまで健康にご留意いただきまして、5月に皆さんと元気にお会いできることを祈念して閉会します。今日はどうもありがとうございますございました。